

令和 6 年度

救助工作車Ⅱ型

仕 様 書

燕・弥彦総合事務組合消防本部

第1 総則

1 目的

この仕様書は、燕・弥彦総合事務組合（以下「当組合」という。）において、令和6年度に購入する救助工作車Ⅱ型(以下「工作車」という。)の一切に適用する。

2 概要

工作車は、車体延長後部座席一体型ハイルーフ総重量12t未満とし、四輪駆動のシングルキャブオーバー型シャシに前後ウインチ、クレーン、発電照明を装備した車両に救助資機材を積載し、人命救助を目的にあらゆる災害に対し安全、確実、迅速に救助活動が行えるものとする。

3 適合法令

本車両の製作は、仕様書及び承認書によるほか、次に掲げる法令等に適合し、緊急自動車として承認を得られるものとする。

また、消防車両の安全基準検討委員会が定める「消防用車両の安全基準について」に適合し、製造工場については品質管理システム(I S O認証取得)を構築していること。

- (1) 道路運送車両法（昭和26年法律第185号）
- (2) 道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）
- (3) 道路交通法（昭和35年法律第105号）
- (4) 緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱（平成18年消防消第49号）
- (5) 消防車両の安全基準について（平成19年3月 日本消防検定協会）
- (6) その他関係法令等

4 製作上の問題処理

- (1) 仕様内容に疑義が生じた場合は、当組合に速やかに連絡し承認又は指示を受けること。
- (2) 仕様変更は、事前に契約担当課及び当組合担当者との打合せのうえ、変更承認図を提出し承認を受けること。
- (3) 本車両製作にあたり、工業所有権その他の法令に抵触する問題が生じたときは、受注者においてこれらの問題を解決すること。

5 製作上の注意

消防車両として最適の構造及び性能を十分に有し、次のとおりとすること。

- (1) 車体全般にわたり防水措置、防錆措置及び防食措置を十分に行うこと。特に下廻りの部材の継ぎ目は全てシーリングを施すこと。

- (2) 清掃・点検・調整及び修理が容易に行える構造とすること。
- (3) 使用の取り扱い上の安全性・操作性を十分に考慮したものであること。
- (4) 全体的に重量軽減を図り、前後左右の荷重バランスを十分に考慮すること。
- (5) 堅ろうにして長期の使用に十分耐え得るものであり、かつ維持管理が経済的に行えるものであること。
- (6) 水洗い整備ができるとともに、残水等の生じない構造とすること。また、フェンダーで器具接触等により塗装剥離の恐れのある部分には、適切な保護対策を講じること。
- (7) シヤシ等は、すべて新規製品を使用すること。
- (8) 法令点検整備が容易に行える構造とすること。

6 規格及び表示

本車両に使用する材料及び部品は特に指定するものを除き、すべて日本産業規格(JIS)のものを使用すること。ただし、ネジ類については、ISOネジ又はこれに準じたものを使用すること。

また、本車両に使用する単位等の表示は、すべてSI単位で表示すること。

7 登録の費用

本車両の新規登録に関する一切の経費については、受注者の負担とする。ただし、本車両にかかる自動車損害賠償責任保険・自動車重量税及び自動車リサイクル法にかかわる経費は、当組合が負担する。

8 登録の代行

本車両製作完了後、受注者は新規登録のための手続きを代行し、新潟運輸支局新潟陸運支局長の行う当該検査に合格させること。

9 保証期間

本車両の保証期間は、納車後1年間とし保証書を提出すること。ただし、保証期間経過後といえども、設計・製作及び材料等の不良に起因する不具合の発生については、受注者において無償で修復又は取り替え等を行うこと。

なお、故障等が生じた場合の修理等については、速やかに対応すること。

10 事故防止

受注者は艤装及び車両の移動にあたって、事故防止に万全の注意を払い、万一事故が発生した場合は、速やかに当組合に連絡するとともに、その事故等について一切の責任

を負うこと。

1.1 検査

- (1) 受注者は、当組合が行う検査を受けること。
- (2) 当組合が適当と判断する時期に、受注者製作工場で艤装の中間検査を行うこと。
ただし、経費については当組合が負担するものとする。
- (3) 車両完成時に各検査を行うものとし、検査時の写真及び「計量証明書」「転覆角度実測証明書(車両安定傾斜角度測定表)」を車両納入時に提出すること。
 - ア 完成車重量測定検査
 - イ 完成車転覆角度検査
- (4) 納車検査は、新規登録後に行うものとし車両・取り付け品・積載品・付属品すべてを一括して行い検査の結果、不備事項又は不合格がある場合は、当組合が指示する日までに改修又は取り替えを行い、再度検査を受けるものとする。
- (5) その他必要に応じ検査を行うものとする。

第2 提出書類

1 提出書類

- (1) 「入札参加申請書」提出時に、次の書類を提出すること。
品質管理システム(I S O認証取得)構築の書類(写し)
- (2) 製作承認図書類・完成図書及び取扱説明書は、A 4版のファイルに一括して綴じること。(写真は除くこと)
- (3) 図面は、すべてA 3版とすること。
- (4) 外国製品の書類等については、可能な限り日本語に翻訳すること。また、各単位にはS I単位を併記すること。
- (5) 外注先一覧表・・・1部
製作を外注する場合は、次の内容の外注先一覧表を当組合に提出すること。
 - (ア) 会社名
 - (イ) 所在地
 - (ウ) 電話番号
 - (エ) 外注内容(品目及び作業内容等)

2 着手届・・・1部

承認図書の審査を受けた後、着手届を提出し着工するものとする。

3 全体工程表・・・2部

契約後1ヶ月以内にシャシの製作を含めた全体の工程表を当組合に提出すること。

4 進捗状況の報告

工程ごとの進捗状況を示す書類、写真を1部提出すること。

5 製作承認図書類・・・3部（返却分1部含む）

受注者は、制作に先立ち当組合と細部打合せを行った上で、次の関係図書をA4版ファイルに綴り込み、各2部を当組合に提出し承認を受けた後、艀装を開始するものとする。

(1) 艀装工程表（外注先の作業工程を含む）

(2) 製作承認図

- (ア) 艀装外観5面図（前、後、両側面及び平面図）
- (イ) シャシ組立図
- (ウ) シャシ諸元明細書
- (エ) 資機材等収納部詳細図並びに各種取り付け装置等詳細図（3図面）
- (オ) 車体骨組図
- (カ) 電気配線図（種類、電球、リレー・ヒューズ・アンペア数等を明示したもの）
- (キ) 動力伝達装置関係図
- (ク) キャブ架装図（後部座席・収納棚・空気呼吸器固定装置を含む）
- (ケ) 諸元明細図
- (コ) ウインチ装置図
- (サ) クレーン装置図
- (シ) 発電装置及び伸縮照明装置図
- (ス) その他、当組合が指示するもの。

6 完成図書

(1) 納入時に次の書類（A4版に製本）を2部提出すること。

- (ア) シャシ、エンジンの点検書
- (イ) シャシの図面
- (ウ) 動力伝達装置（P. T. O）の図面
- (エ) エンジンオイル冷却装置の図面
- (オ) シャシの改造関係（キャブ取り付け品その他）の図面
- (カ) シャシ艀装資料
- (キ) シャシの諸元明細書又は詳細な仕様書
- (ク) シャシカタログ

- (ケ) シャシ使用電球型式一覧表（型式・ワット数明示、増設部含む）
- (コ) シャシ使用ヒューズ型式一覧表（型式・アンペア数明示、増設部含む）
- (サ) シャシ電気配線図（増設部）
- (シ) オイルパンヒーター図及び諸元表
- (ス) 艀装外観5面図
- (セ) 完成車の最小回転半径の走行軌跡図
- (ソ) 使用材料一覧表
- (タ) 車体骨組図
- (チ) 各電装品の配線施工図（メンテナンスを考慮したもので、リレー・ヒューズ・リミットスイッチ・安定器等の設置位置を具体的に示したもの）
- (ツ) 装備品等一覧表（品名、数量、製作会社名、型式等）
- (テ) 装備品等のカタログ又は写し（諸元明示）
- (ト) 装備品等の使用油脂類一覧表（整備上必要なもの）
- (ナ) 使用電球型式等一覧表
- (ニ) 使用ブレーカー（ヒューズ）型式一覧表
- (ヌ) 改造自動車等審査届出書（写し）
- (ネ) 計量証明書（写し）
- (ノ) 艀装重量、車両重量及び車両総重量の荷重分布計算書
- (ハ) 転覆角度実測証明書（写し）
- (ヒ) 車検証（写し）
- (フ) その他、当組合が指示するもの。

(2) 取扱説明書・・・2部

- (ア) シャシ取扱説明書（シャシ取り付け品含む）
- (イ) 資機材及び取り付け品等の取扱説明書（整備解説書含む）
- (ウ) 各種保証書

7 写真（写真及び写真を保存したメディア）

次に掲げる写真（A4版ファイルに製本）をそれぞれ4部提出すること。

また、カラーL版写真及び写真を保存したメディアを提出すること。

- (1) 製作工程に基づく工程写真（シャシから完成車両までの状況）
- (2) 工程ごとの塗装状況が確認できるもの。
- (3) 完成車両（新規登録後でナンバー付）上部前後左右の正面及び斜めから撮影したもの。
- (4) 資機材収納部の状況
- (5) 緊急自動車事前届出用（上部前後左右の正面から撮影、新規登録前のもの）
- (6) 緊急自動車届出用（上部前後左右の正面から撮影、新規登録前のもの）
- (7) その他当組合が指示するもの。

8 無償点検整備

納車後3ヶ月の法定定期点検整備は、受注者が無償で行うこと。

9 取扱説明

納入者は当組合が指示するとおり、本車両及び艀装装備品等の取り扱いについて専門係員を派遣し、取扱説明を行うこと。

10 その他

道路交通法施行令第13条の規定に基づく緊急自動車の届出事務処理上必要なものとして、当該車両の車両型式・車体番号が記載されている書類及び前記「7(5)」の写真を新規登録日の10日前までに当組合に提出すること。

なお、緊急自動車の届出は受注者が行い、納入前までに燕警察署へ届け出るものとする。

第3 仕様

1 材質の規格

- (1) 材料及び部品は、すべて新規製品を使用すること。
- (2) ステップ等は、アルミ縞鋼板を使用すること。
- (3) 保護枠・蝶番・手摺り・握り棒等その他金属露出部分及び外部に取り付けるボルト・ナット類は、ステンレス製部材を使用すること。
- (4) シーリング材は、弾力性があり経年劣化により硬化しにくいものを使用すること。
- (5) 潤滑油及び各種作動油は、各メーカーが指定するものを使用し、規定量を入れておくこと。
- (6) 電池及び電池パックを使用するものは、各メーカーが指定するものを使用し、必要数を入れておくこと。
- (7) その他の材料は、次のとおりとすること。
 - (ア) プラスチック類は、すべて難燃性及び耐油性、更に耐候性及び耐寒性に優れたものを使用すること。
 - (イ) ゴム製品は、耐油性及び耐劣化性、更に耐熱性及び耐寒性に優れた合成ゴムを使用するとともに、交換が容易な取り付け方法とすること。

2 主要諸元

本車両は、車体延長後部座席一体型ハイルーフにウインチ、クレーン、照明及び無線電話装置を装備したもので、キャビン後方に別表に掲げる救助資機材等を積載し、その

機能を十分に発揮できる構造とする。また、ボディは走行による振動や救助活動等に十分に耐えうる構造であるものとする。

- | | |
|----------------|--|
| (1) 型式 | 一般型シャシ低床式 5.5 t 級増 t 四輪駆動をベースとしたシングルワイドキャブ
2KG-GX2AGBA |
| (2) エンジン | ディーゼルエンジン |
| (3) 排気量 | 5, 123cc 以上 |
| (4) 検定出力 | 240PS (177kW) 以上 |
| (5) 軸数 | 2軸 |
| (6) 駆動方式 | 4輪駆動 |
| (7) タイヤパターン | スタッドレス |
| (8) タイヤサイズ | 245/70R 19.5 |
| (9) タイヤチェーン | ダブルバンド付 (一式) |
| (10) スペアタイヤ | 前輪用、後輪用 各1個 |
| (11) ホイール | アルミ製 |
| (12) 走行装置 | マニュアルトランスミッション
(ア) パワーステアリング装置
(イ) 最終減速比は高トルク型 |
| (13) ホイールベース | 4,000mm 以内 |
| (14) 車両寸法 | 全長 : 8,000mm 以下
全幅 : 2,400mm 以下
全高 : 3,300mm 以下 (無線アンテナは除く) |
| (15) 車両総重量 | 12,000kg 未満 (別表の積載品重量含む) |
| (16) 乗員人員 | 5名 (前席2名、後席3名) |
| (17) オイルパンヒーター | マグネット式、防水型 15m 専用コード |
| (18) キャブチルト | 電動油圧式 (緊急時に手動操作可能なもの) |
| (19) リーフスプリング | バネ常数の高い強化スプリングに変更 |
| (20) バッテリー | 155G51 以上 2個 (点検が容易なワンタッチ引き出し式) |
| (21) 燃料タンク | 100L 以上 |
| (22) 動力伝達装置 | トランスミッション P.T.O |
| (23) その他 | (ア) オルタネーター出力 (24V90A 以上)
(イ) エアコン フロント (純正品) リア (別途取付)
(ウ) ABS (アンチロックブレーキシステム) 装置
(エ) 坂道発進補助装置
(オ) ヘッドライト (LED 式純正品)
(カ) フォグランプ (シャシ標準品)
(キ) パワーウィンドウ (全ドア)
(ク) 集中ドアロック (全ドアキーレスエントリー付き)
(ケ) 室内灯 (LED 式) |

- (コ) カーナビゲーションシステム (TVチューナー内蔵)
- (サ) 車両後方監視モニター (バックアイカメラ連動)
- (シ) カーオーディオシステム (ラジオAM・FM、CD等)
- (ス) ドライブレコーダー
- (セ) シート防汚カバー (全席)
- (ソ) 泥除けカバー (全輪)
- (タ) キーレスエントリー (3個)
- (チ) ステンレスナンバー枠
- (ツ) サイドバイザー (樹脂製全ドア)
- (テ) サンバイザー (運転席、助手席)
- (ト) フロアマット (一式)
- (ナ) フロントグリル (メッキグリル付)
- (ニ) フロントスポイラーバンパー
- (ヌ) フロントバンパー上面アルミ縞鋼板張り
- (ネ) リアバンパー上面アルミ縞鋼板張り
- (ノ) マルチインフォメーション
- (ハ) エンジンアワーメーター (マルチインフォメーションパネル内表示)
- (ヒ) 油温計 (マルチインフォメーションパネル内表示)
- (フ) ブレーキ摩耗センサー
- (ヘ) 艀装メインスイッチ (ACCキー連動)
- (ホ) オーバーヘッドコンソール
- (マ) 寒冷地仕様
- (ミ) 標準工具 (一式)
- (ム) 停止表示板
- (メ) タイヤチェーン
- (モ) その他メーカー標準装備品等
- (ヤ) その他 (別途協議)

3 シャシ規格

- (1) 使用するシャシは、令和6年に製作されたものを使用すること。
- (2) 使用するシャシは、日野自動車製5.5 t (低床式)のシャシとすること。
- (3) 使用するシャシは、排出ガス規制(ポスト新長期)に適合し製造されたものとする。
- (4) この仕様書において指定した装備品以外のものについては、メーカーが公認している標準品が装備されていること。

4 シャシ装備品

- (1) バッテリーは155G51以上2個。点検が容易なワンタッチ引き出し式とすること。
- (2) オルタネーターは24V-90A以上とすること。
- (3) 燃料タンクは100L以上とし、消防シャシ用100Lを取り付けること。
- (4) エアコンは、車両メーカーの純正品とし、後部座席にもリアクーラー・リアヒーターを取り付けること。
- (5) キャブ運転席側にオイルパンヒーター用メタルコンセント（キャブ・15m専用コード付）を取り付けること。なお、ヒーターはAC100Vを電源とし、配線及び結線部は露出のないようにするとともに、漏電及び防水対策を十分に施すこと。（バッテリー充電器兼用とし、マグネット式とする。）（別途協議）
- (6) フォグランプは白色LED式純正シャシ標準品を取り付けること。
- (7) フロントスポイラーバンパーを取り付けること。
- (8) サイドバイザーは樹脂製ダブルキャブ純正品を全ドアに取り付けること。
- (9) 助手席サンバイザーはシャシ標準品を取り付けること。
- (10) LEDヘッドライトはLED式純正品を取り付けること。
- (11) ABS及びESスタート（坂道発進補助装置）を取り付けること。
- (12) イモビライザーを取り付けること。
- (13) マルチインフォメーションパネルはエンジンアワーメーター、油温計を表示できるものを取り付けること。
- (14) カーナビゲーションシステムはTVチューナー内蔵を取り付けること
- (15) 艀装メインスイッチはACCキー連動を取り付けること。
- (16) キーレスエントリー付き集中ドアロックとすること。
- (17) PTO信号配線を取り付けること。
- (18) ブレーキ摩耗センサーを取り付けること。
- (19) オーバーヘッドコンソールは純正品を取り付けること。
- (20) 熱線入りリモコンミラーを取り付けること。
- (21) エンジンコントロールリンクを取り付けること。
- (22) 寒冷地仕様とすること。
- (23) フロントグリルはメッキグリル付きとすること。
- (24) スペアタイヤは前輪用、後輪用各1個とすること。

5 キャブ室内

- (1) キャブ天井部はハイルーフとし、居住性に優れた構造とすること。
- (2) フロントキャビン内の座席は2席とし、助手席の背もたれに埋め込み式の呼吸器ブラケットをベルト止めで取り付けること。
- (3) キャブ内助手席シートは空気呼吸器及び面体が収納できるように埋め込み型シートとし、呼吸器ブラケットをベルト止めで設けること。（別途協議）
- (4) リアキャブは車体と一体とし、後部座席は跳ね上げシート3席とすること。なお、隊員

- の居住性を考慮しリアキャビンは車両の前後方向で1, 200mm程度確保すること。
- (5) キャブ内後部座席に空気呼吸器ブラケット一体型座席シートを3席取り付けること。
また、空気呼吸器固定装置はベルト止めで取り付け、面体等吊り下げ用フック（可倒式二股フック）を3箇所取り付けること。
 - (6) 運転席後部面に幅広マジックバンドを使用し簡単に脱着可能な呼吸器ブラケットを設置し運転席側面にフックを取り付けること。（別途協議）
 - (7) キャブ内後部座席の背当ては、隊員の空気呼吸器脱着が容易にできる構造とすること。
 - (8) キャブ内全席にシート防汚カバーを取り付けること。（別途協議）
 - (9) 後部座席上部天井左右に埋め込み式LED照明を取り付け、スイッチは3段切替式（ON・OFF・ドア連動）とすること。なお、スイッチはリアドア上部左右に取り付けること。
 - (10) 助手席及び後部席両側にLEDフレキシブルマップランプを取り付けること。
 - (11) 運転席中央付近に分割で仕切りを設けることが出来るコンソールボックスを取り付けること。
 - (12) キャブ内各装置の電装品スイッチは、運転席中央付近のセンターコンソールボックスに取り付け、操作が容易に行えるよう設置すること。なお、各装置の電装用スイッチパネルは、前席中央部に集中し次に掲げるものの操作が容易に行えるよう設け、銘板を付すこと。
 - (ア) 盤面灯
 - (イ) 10連スイッチボックス
 - (ウ) 音声合成式電子サイレン TSK-D152
 - (エ) モーターサイレンスイッチ（自動吹鳴装置付）
 - (オ) シャッター開閉確認ランプ（10連スイッチ若しくはコンソールボックスに配置）
 - (カ) 照明塔上昇確認ランプ（10連スイッチ若しくはコンソールボックスに配置）
 - (キ) マルチスロットルコントロールスイッチ（ロック式）
 - (ク) 電子サイレンアンプ用マイク掛け（センターコンソールボックス脇）
 - (ケ) 車載型無線機（別途協議）
 - (13) キャブ内後部座席シート横にキャビネットを脱落防止用ネット付きで2箇所設置すること。（別途協議）
 - (14) キャブ内後部座席付近に、鉄製の地図収納ボックス(A3サイズ)を取り付けること。（別途協議）
 - (15) 助手席後部に側面をパンチング方式で作製した収納棚を設置すること。（別途協議）
 - (16) キャブ内前部席前方上部ルーフフロントコンソールを設け、上部にゴムマット、脱落防止用扉を取り付けること。
 - (17) 後部席前方上部にルーフセンターコンソールを設け、上部にゴムマット、脱落防止用扉を取り付けること。なお、下部にはSUSパンチングメタルを2重底で取り付けること。
 - (18) 後部席後端上部にルーフリアコンソールを設け、上部にゴムマット、脱落防止用扉を取り付けること。

- (19) 各ドアのフェンダー一部及び蹴り込み部分に金属化粧板を取り付けること。
- (20) 乗降用の手摺りをキャブ内後部の両側及び両上部に取り付けること。
- (21) エンジン回転計及びエンジン油温計を、運転席の見やすい位置に各1個取り付けること。
- (22) 各ドアには、ドア連動のLED式足元灯及びドアサイドに赤色灯（LED）を設けること。ただし、バッテリーメインスイッチを介すること。（別途協議）
- (23) キャブ内バックミラーを改良し、車両後方を常時監視できるモニターを取り付けること。（7インチモニタ）（詳細別途協議）
- (24) 運転席インパネ付近にカーナビゲーションシステム（TVチューナー内蔵）を取り付けること。
- (25) 後部隊員席は左右に片開きドアを設け、ドア開閉に連動した昇降ステップを取り付けること。
- (26) 隊員席前後左右の乗降ドアにはパワーウィンドウを取り付けること。なお、ドアの開口部は最大限大きくすること。
- (27) 前部席と後部席を貫通し隊員との情報伝達が容易にできるとともに、貫通接続部の防水対策を十分施すこと。なお、後部座席背面と貫通接続部までの間隔は1,200mm以上確保すること。
- (28) キャブ前部の隊員席は室内高1,800mmを確保するとともに後部の隊員席は室内高1,900mmを確保すること。後部席着席時に前方視界が妨げにならないよう開口部1,200mm×1,700mm以上を確保すること。
- (29) 運転席右側上部にフレッシュアブルマイクを取り付け、直近にスイッチを設けること。
- (30) 後退警報器はON・OFF切り替えスイッチを運転席付近に設け、音声式とすること
- (31) リアキャブ用ヒーター、クーラーを別途取り付けること。
- (32) キャブ前席中央にコンセント2口、USB1口、後部席にコンセント2口を取り付けること。（別途協議）

6 車体及び付属

- (1) 車体は、ウインチ装置、発電照明装置、最後部にクレーン装置を装備し、ボディ扉はアルミ製ハンドルシャッターで内部に各種資機材収納装置を設けること。
- (2) ハイルーフキャブの屋根に散光式警光灯を一体型に組み込み、上部に薄型スピーカー（防雪カバー付）を取り付けること。
- (3) キャブ上部の屋根上にアルミ縞鋼板張り落とし込みルーフデッキを設け、6個D環フックを取り付けること。
- (4) キャブ上部のルーフデッキに「新潟 燕・弥彦R」と対空表示を記すこと。
- (5) 赤色警光灯は、散光式警光灯を一体型に組み込み、上部に薄型スピーカーを取り付けること。（キャビンとセパレート型は不可とする。）
- (6) 散光式警光灯及びスピーカーについては下記内容で取り付けること。
 - (ア) 散光式警光灯 高輝度LED式

- (イ) スピーカー SA-41 (防雪カバー付)
- (7) キャブ天井側面左右に、標識灯を埋込式にて取り付けること。
 - (8) キャブ後部左側に旗立て装置をステンレス製で設け、旗竿が蝶ネジで固定できるように取り付けること。
 - (9) 車体の両側面はキャビンと一体観のある丸みを帯びた曲面構造とし、上部を上面と同程度の嵩立上げとし、前後は曲面構造にすること。また、総体的な重量軽減を図り車体重量、前後左右のバランス、転倒角度を十分考慮して製作すること。
 - (10) シャッター上部雨返し部内側にLED式バー型の照明を左右各1箇所を取り付けること。なお、シャッター及びシャッター下部収納庫が収納されている状態で下方を照射できるようにすること。
 - (11) 車体の天井及び各ステップはアルミ縞鋼板製とし、車外に設ける手摺、保護枠等はステンレス製にすること。
 - (12) キャブの構造は、エンジンの点検等を容易にするため電動キャブチルト装置付とし、落下防止用の支え棒等を取り付けること。(三連梯子等がキャブ屋根上に張り出している場合には電動キャブチルト操作が行えない安全装置を設けること。)
 - (13) 車体側面立上部に耐荷重200kg程度のシャックルを左右各2箇所設けること。
 - (14) フロントグリルはメッキとすること。
 - (15) キャブフロントグリル上部中央の位置に、手摺りを取り付けること。
 - (16) 消防章をフロントグリル中央部に日野エンブレムを残して黒色の台座を設けて強固に取り付けること。
 - (17) フロントバンパー上部は、3.0mm厚のアルミ縞鋼板張りとすること。
 - (18) 車輪止めは、右側後部ドア下ステップ付近に収納すること。(別途協議)
 - (19) バッテリーは、キャブ左側後部ドア下部にシャシフレームより補強したレール付き収納装置とし、容易に点検ができ、固定及び解除できるロック装置を取り付け、乗降に支障とならないようにすること。
 - (20) 左右サイドミラーは、熱線入りリモコンミラーを取り付けること。
 - (21) 車両左側に助手席用補助ミラーを取り付けること。
 - (22) エンジンオイルレベルゲージは、キャブチルトしなくても点検できること。
 - (23) 車体後部壁面上部左右に収納枠を設け、長物資機材の積載庫を設けること。なお、長尺資機材の取り出しを考慮し、脱着式のアルミ縞鋼板製のトレーを左・中央・右に各1個準備すること。(別途協議)
 - (24) 車体の両側面に設ける資機材収納部の開閉方法は、車体の曲面構造に合致した手動式アルミ製シャッター(左右各2枚)とし、開扉状態を確認できるリミットスイッチを設け、キャブに取り付けた表示灯に結線すること。なお、シャッター下部は塗装面保護のためにSUS製の保護材を取り付けること。
 - (25) 車体両側下部の収納庫の扉は柱の無いピラーレス構造とし、二重扉外側下部には車体内側に傾斜をつけ前後方向へアクセントラインを形成すること。
 - (26) 二重扉の展開時には収納庫下部に入り込み、収納庫床面より1段下がる構造のアーム型ダンパー方式のチェーンレスステップとし、ステップの張り出しを極力抑えた狭隘道

- 路対策を施すこと。
- (27) 車体両側下部は大型の収納庫を設け、二重扉内側にはアルミ縞鋼板を張り、扉閉時のロック装置付きとする。なお、サイドに黄色の反射テープを張り付けること。
 - (28) 車体両側面のリアフェンダーは展開式の扉とし、二重扉内側にはアルミ縞鋼板を張り扉閉時のロック装置付きとする。なお、サイドに反射テープを張り付けること。
 - (29) 車体両側面のリアフェンダーの扉を展開した時は、アーム型ダンパー式チェーンレスステップとの段差が生じない高さ及び張り出し幅となるフルフラット方式とし、ステップ間の移動が容易にできること。
 - (30) リアフェンダーの扉は柱の無いピラーレス構造とし、二重扉外側下部には車体内側に傾きをつけ前後方向へアクセントラインを形成すること。
 - (31) 車体両側下部の収納庫の扉と両側面リアフェンダーの扉に設けるロック装置はダブルロックとし、側板から吐出しないよう扉内蔵の埋め込み式にすること。
 - (32) 全ての展開式ステップの角は展開時に隊員の安全を考慮し丸みを施すこと。
 - (33) 全ての展開式ステップの上面角に塗装の剥がれを防止するステンレス製のエッジカバーを3面張り付けること。
 - (34) 車体後部左右に外部無線用送受話ボックスを設け、配線すること。
 - (35) エンジン点検用のLED照明灯を取り付けること。
 - (36) 車体両側下部の大型収納庫の扉にサイドフラッシャーランプを取り付けること。
 - (37) フロント及びリアタイヤには泥除けを取り付けること。
 - (38) 車両両側下部の必要箇所に丸型のサイドリフレクターを取り付けること。
 - (39) 車体上部にクレーンフックの受台を取り付けること。
 - (40) 車体上部の大型照明装置灯体を収納するための支持台を取り付けること。
 - (41) 路肩灯LED式シャインマーカー等を車体両側面の後輪前部に取り付けること。
 - (42) アウトリガー両側面に保護カバーを設け、外側下部には車体内側に傾斜をつけ車体の前後方向と一体したアクセントラインを形成すること。
 - (43) アウトリガージャッキ用敷板（樹脂製マグネット式・金属製滑り止め（着脱可））を左右各1枚クレーン装置付近に取り付けること。
 - (44) 車体左右に車輪止め各2個を収納枠付きで取り付けること。
 - (45) アウトリガー上部に黄色灯（保護枠付）を取り付けること。
 - (46) 車両後部に20型消火器1本を取り付けること。（別途協議）
 - (47) 車両両側のリアフェンダー内に環フック（耐荷重500kg）を各2箇所取り付けること。
 - (48) 車体上部右側に脱着式のアルミ縞鋼板製収納ボックスを取り付けること。（別途協議）
 - (49) 車体両側下部の収納庫内にはLED式の庫内灯を取り付けること。なお、点灯及び消灯は収納庫扉の開閉に連動すること。
 - (50) 車体後面とクレーンの間にボックスを設け、バスケットストレッチャー等が収納できるようにすること。なお、取り出しは左右どちらでも行える構造とし、内部に仕切りを設けてとび口を収納できるようにすること。また、狭所地での取り出しを考慮して、上部は斜めに立ち上げる構造とすること。

7 主要装備

(1) クレーン装置

- (ア) クレーン装置の動力は車両のトランスミッションPTOで油圧ポンプを駆動させシャシ後部に最大吊上げ能力2.9t級クレーン装置を架装し、シャシフレームを必要に応じて補強すること。
- (イ) クレーン操作部左右の見易い位置に水準器を取り付けること。
- (ウ) クレーン操作部の見易い位置に荷重計を取り付けること。
- (エ) クレーン及びアウトリガーの未格納警報装置を取り付けること。
- (オ) アウトリガーにカバーを取り付けること。なお、アウトリガー及びカバーには注意喚起のための黄色反射テープを張り付けること。また、アウトリガー上部に黄色灯を保護枠付きで設けること。
- (カ) クレーンモード切替スイッチ（電磁式）をクレーン保護板の付近に確認灯付きで取り付けること。
- (キ) クレーンブーム先端にLED式作業灯を取り付けること。
- (ク) クレーンブーム下部にLED式作業灯を取り付けること。
- (ケ) クレーンの塗色は黒色とすること。
- (コ) クレーンのギアボックス周辺に昇降時用手摺を取り付けること。（詳細指示）

(2) クレーン仕様

(ア) 形式	古河ユニック URG343GRQ/3段
(イ) フック格納	スーパーユニック
(ウ) 最大クレーン容量	2.9t以上
(エ) 最大ブーム長	8.7m以上
(オ) 最大地上揚程	9.6m以上
(カ) 最大作業半径	7.5m以上
(キ) 駆動方式	トランスミッションPTO油圧式
(ク) 連動ラジコン	液晶ラジコン（ジョイスティック式）

(3) クレーン装置仕様内容

- (ア) デジタル式荷重計
- (イ) インフォメーションパネル
- (ウ) 巻過自動停止装置
- (エ) ブーム、アウトリガー未収納警報装置
- (オ) 全自動格納装置（縮、伏、旋回連動）
- (カ) フック格納解除（起連動）
- (キ) 前方領域検出装置
- (ク) 転倒防止装置
- (ケ) 高機能高さ制限装置
- (コ) 高機能フック平行移動

- (サ) 高機能対地平行移動
- (シ) 直交作動
- (ス) 記憶作動
- (セ) 高機能ショックレス
- (ソ) マーカーランプ配線内蔵
- (タ) 水準器両側取り付け
- (チ) ワイヤロープ押さえ
- (ツ) クレーン先端フック (左右各1個 耐荷重300kg)
- (テ) その他標準装備

(4) クレーン装置付属品

- | | | | |
|------------|-----|-------------|-----|
| (ア) 繊維スリング | 3 t | 3 m、5 m、8 m | 各2本 |
| (イ) シャックル | 3 t | 2個 | |
| (ウ) 滑車 | 3 t | 1個 | |

(5) ウインチ装置

- (ア) ウインチ装置の動力は、車両のトランスミッションPTOで油圧ポンプを駆動させ後軸後方のフレーム間に直引き能力5 t級の前後引き油圧ウインチを架装すること。
- (イ) ウインチのロープガイドがフロントバンパーよりとび出さない程度にフロントバンパーを延長し、バンパー上面にアルミ縞鋼板板を取り付け、3 t級ピントルフック(ステンレス製)を左右に取り付けること。
- (ウ) ウインチのロープガイドにはアルミ縞鋼板製カバーをフロントバンパー部に取り付けること。なお、このカバーはウインチ使用時にカバーを取り外さなくてもロープが引き出せるように工夫し、必要に応じてカバー全体も取り外せるようにすること。
- (エ) ワイヤロープの牽引角度は全方位25度まで対応可能とし乱巻、キンク等が発生しない構造であること。
- (オ) ワイヤロープを手動で引き出す時に軽い力で引き出せるよう補助動力を設けること。
- (カ) 引張力は引き出したワイヤロープの長さに関係なく、常に5 t以上であること。
- (キ) 救助活動を円滑かつ安全に進めるため、ワイヤロープの巻取・送り出しスピードは低速ギア・高速ギアの2段階に切り替えができ、高速ギアは停止状態から27m/分まで、低速ギアは停止状態から10m/分まで無段階にコントロールできること。
- (ク) リモコン装置には張力負荷率(%)をレベルゲージ表示する表示計を設けること。
- (ケ) ウインチモード切替スイッチ(電磁式)及びリモコン差込口を車体左側フロントのボックス内に蓋付で設けること。なお、モード切替が確認できる確認灯を設けること。
- (コ) ウインチリモコンにはウインチ能力の使用状況を表すレベルゲージ及び%表示を切り替えなく表示できるようにすること。
- (サ) 後部ウインチの操作性を向上させるため、前部ウインチはトランペットカップを取り付けた状態でアイフックを脱着式固定棒で固定できる構造とすること。なお、前部

ウインチ使用時は固定棒を取り外すことで容易に操作できる構造とすること。また、後部ウインチ使用時の動滑車に使用時の安全を考慮して取手を設けること。

(シ) ウインチの作動油はクレーンの作動油と兼用すること。

(6) ウインチの仕様

(ア) 形式	TR030/7	TREIBMATIC
(イ) 能力	最大直引き能力	常時5 t
(ウ) ワイヤー外径	13 mm以下	
(エ) ワイヤーの長さ	全長60 m	(有効長45 m程度)

(7) ウインチ付属品の仕様

(ア) リモコン装置	10 m延長コード付	1 個
(イ) フック	5 t	1 個
(ウ) シャックル	5 t	1 個

(8) 屋上上昇式発電照明装置

発電照明装置は、トランスミッションPTOで油圧駆動させ発電機、操作配電盤及び伸縮装置付投光器で構成し、災害時の照明並びに電源供給作業が十分行える能力を有するもので永年使用に耐えられるものであること。なお、本仕様に明記されていない点はメーカー公表の標準仕様とすること。

(9) 投光器

(ア) 投光器は、耐久性、耐震性及び防水性に優れたものとし、4段階減光機能を有し投光器の前面は工具不要の脱着式で拡散レンズ及び色温度変換フィルタの取り付けが可能とすること。

(イ) 投光器収納時は、車体嵩上げ部より突出しない構造で取り付けること。

(ウ) 投光器は伸縮、旋回及び上下ふ仰できる構造のもので、有線リモコン及び無線リモコン操作により遠隔操作できること。

(10) 投光器の諸元及び性能

(ア) 形式	SLD-6000UCL2-D	(LED1500W相当×2灯)
(イ) 電源	AC100V	
(ウ) 最大中心光度	1,300,000 cd	以上
(エ) 周囲照明灯	ハイパワーLED9W×2灯	以上

(11) 伸縮装置

伸縮装置は油圧ケーブルレス方式とし、積載ボックスの収納スペースを妨げない構造とすること。また、緊急時には手動で縮動できるものとする。

(ア) 形式 SVO-180CL-4A ケーブルレス対応型

- (イ) 伸縮高 地上高 6 m以上
- (ウ) 収納高 地上高 約3. 2 m以下
- (エ) 段 数 4 段
- (オ) 旋回角 ±3 6 0 度
- (カ) ふ仰角 1 8 0 度

(12) 配電操作盤

配電操作盤は、制御盤及び配電盤より構成し、発電機と照明装置への電源供給操作を一体型にしたものとし、必要最低限の大きさにまとめ扉は防滴構造とすること。

- (ア) 形 式 SVO-CB-FW3 ケーブルレス伸縮装置対応型
- (イ) 操作盤の材料は絶縁性、耐圧性及び強度に優れたものを使用すること。
- (ウ) 操作盤は、資機材の収納を妨げない最小限の縦型とし各計器、スイッチ類は合理的に配列されていること。
- (エ) 操作盤に自動エンジン回転制御装置用のロック式スイッチを設けること。
- (オ) 車両走行エンジンの回転調整装置（非常用）を操作盤に設けること。
- (カ) 各スイッチには、同容量のノンヒューズブレーカーを設けること。

(13) 操作方法

- (ア) 有線リモコン式、無線リモコン式とすること。
- (イ) 自動収納型とすること。
- (ウ) 手動で縮動操作可能な構造であること。

(14) 発電装置

- (ア) 形 式 GE-2412B
- (イ) 出 力 10KVA
- (ウ) 電 源 単相100V
- (エ) 周 波 数 50Hz～60Hz
- (オ) 回 転 数 1500～1800rpm/min
- (カ) 励磁方式 自励式
- (キ) 電 圧 変動率5%以下

(15) 車体コンセント

発電装置から供給される電気を用いるためのコンセントAC100V×15A2極×2口をキャブ内前席中央、後部席、車体の後部左右に設けること。また、USB1口を前席中央に設けること。（別途協議）

(16) 梯子昇降装置

車体上面に三連梯子及びかぎ付梯子を積載し、積み降ろしは地上から容易に操作ができるダンパー式昇降装置を防錆性、耐久性のあるオールステンレス製で製作しロック操作

を含め、一切の操作を地上より可能な構造とすること。なお、昇降装置下降後に積載している梯子を降ろした際の跳ね上げ防止のため、ダブルロック式とすること。また、天井での取り出しができ、スライドの途中位置で固定ができるようロック装置を設けること。

8 積載庫

- (1) 積載ボックスは、軽量ユニット方式の車体と完全分離した構造とし、資機材の変更が生じた場合にも容易に改造できる構造とすること。
- (2) 軽量ユニット方式のユニット枠は防錆のため、ステンレスを用いて製作すること。
なお、積載ユニット枠内部の棚板は高さを自由に換えられる構造とすること。
- (3) 積載ボックスの構造は、中央で左右に分割し両側面を5から6区画とする。この区画は収納資機材の現物に合わせ、さらに2から4段の棚に細分すること。(別途協議)
- (4) 空気呼吸器用予備ボンベ6本を収納できる棚を設け、ワンタッチで脱着容易な金具を取り付けること。
- (5) 資機材は、アルミ縞鋼板製のボックスに収納し搬送を容易にするため、ゴムカバー付の取手を設けること。なお、アルミ縞鋼板製ボックスの収納をスムーズにするため、下部に樹脂製の台座を設けること。
- (6) 救命索発射銃の格納ボックスを専用の鍵付で設けること。(サイズについては別途協議)
- (7) 資機材ボックス内に設ける扉は、アルマイト加工又はパンチング加工を施した化粧パネルを取り付けること。
- (8) 積載枠上部に下方を照射するLEDバー式照明灯を左右各2箇所取り付けること。
- (9) 資機材の収納部を有効に照射できるLEDバー式室内灯をシャッターレールに沿って必要数取り付け、スイッチはシャッター及びボックス扉の開閉に連動していること。
- (10) 資機材は、ローラー・移動ローラー・引き出しレール・フルスライド引き出し装置等を用いて容易に車外へ引き出せる構造とし、高所の資機材にあっては必要に応じて斜め引き出しを設けること。なお、大型油圧救助器具の積載は大型展開収納庫に行い油圧救助器具に充電が行える構造とすること。(必要に応じてON/OFF SW付)
- (11) アルミ製のボックスには資機材銘板を設け、積載ボックスの収納位置を分かり易くするための番号をボックスとユニット枠の相互に記入すること。
- (12) 車体の両側面前後に取り付けるシャッター用リミットスイッチ等の配線部分の干渉防止策としてステンレスの保護板を設けること。
- (13) 資機材の固定は、現物に見合った固定装置を取り付け、マジックベルト等を使用しワンタッチで容易に脱着できる構造とすること。
- (14) 各種資機材の収納方法については可能な限り同一用途にまとめ、重量物は可能な限り下部に収納することとし、高所に配置されるアルミ縞鋼板製ボックス奥に引掛用ローラーを取り付け、アルミ縞板製のボックスを引き出した際に傾斜をつけた状態で保持することができる構造とすること。また、収納配置は当組合と充分協議し、重量バランス・収納効率・軽量化対策等を考慮し製作にあたること。

- (15) マット型空気ジャッキ収納下部はローラー式とし、容易に資機材の出し入れができるようにすること。
- (16) 積載庫内の照明装置用リモコン収納場所を照射するためのLED照明灯を取り付けること。
- (17) 資機材の収納ボックスにはクッションゴム等を敷き、資機材の保護を図るとともに防水パッキン、水抜き穴等必要な処置を講ずること。
- (18) ロープ、カラビナ、救助用縛帯等は吊り下げ用フック付の引き出しレール式（正面及び中央部パンチングメタル貼り）とし、両側面は引っ掛かり防止のパンチングカバーを張り、容易に出し入れができること。なお、引き出しレール部のパンチングメタルは防音、干渉防止のための樹脂コーティングを施すこと。また、ボルトレスのはめ込み式フック（大・小）を別途準備し、任意の位置に資機材を自由に掛けられる構造とすること。
- (19) 携帯救助器具（掛矢、ツルハシ、バール、金テコ、斧、鉋、鋸等）の収納は引き出しレール式のパネルに取り付け、容易に出し入れが可能な構造とすること。（別途協議）
- (20) 車体の重要な点検箇所に関しては工具を使用するためのスペースを確保するとともに必要な箇所に点検口または点検扉を設けること。
- (21) 車体にステップ、ブラケット、タラップ手摺棒等を取り付ける部分には十分な補強を施すこと。
- (22) 車体の骨組や板材の切断端末には、危害防止の面取りを施し飛び出したボルト類は短くする等の処置を施すこと。
- (23) 仕様書に明示されていない資機材の配置、固定装置、出し入れ等については別途打ち合わせにより協議すること。
- (24) 装備品、付属品、救助資機材等の種類、品名は別表に掲げるとおりとする。
- (25) 救助資機材等は積載スペース、重量制限、転倒角度制限の可能な限り積載するものとし、積載不能の場合は別途協議すること。
- (26) 当仕様書に定める救助資機材及び積み替え品の積載、収納が想定される積載配置の細部については、打ち合わせ協議によりデッドスペースを無くし、操作性を考慮したものとするため3D図面による資機材配置図で詳細を確認できるようにすること。

9 フロントバンパー

- (1) ウインチのロープガイドまでフロントバンパーを張り出し、バンパー上部にアルミ縞鋼板を取り付け、3 t用ピンドルフックを左右に設けること。
- (2) バンパー前部に3 t用バウシャックルを左右に設けること。
- (3) バンパー上面に収納庫を設けること。
- (3) ウインチ用アルミ縞鋼板製カバーをフロントバンパー部に設けること。
- (4) ウインチ（車両）とワイヤーロープの牽引角度は全方位25度まで対応可能とし乱巻、キンク等が発生しない構造であること。
- (5) ワイヤーロープ巻き込み用にトランペットカップ型の全方位対応のロープガイドを

前後に取り付けること。

(6) 前部ナンバープレートについてはステンレス製ナンバー枠を取り付けること。

(7) モーターサイレン7N型（自動吹鳴装置）はフロントバンパー付近に取り付けること。

10 リアバンパー

(1) リアバンパーの両側面下部は車体内側に傾斜をつけ、車体の前後方向と一体のアクセントラインを形成するとともに旋回時の側板接触を軽減させるために両側板は後方へ絞り込むこと。

(2) リアバンパーの上面はアルミ縞鋼板貼りとすること。

(3) リアバンパー後部及び両側面に収納庫を設けること。

(4) リアバンパー後方にコンビネーションランプ（流鏑馬デザイン・シーケンシャルターン仕様）及びバックランプを取り付けること。

(5) 後部に操作レバーのロッドを覆い隠す手摺付の保護パネルを設け、中央にナンバープレートを埋め込み式で取り付けること。

(6) 車両後部両側に車両最大牽引能力に十分耐え得る牽引フック（バウシャックル）を取り付けること。

(7) リアバンパー両側面にサイドマーカーランプを左右各1個取り付けること。

(8) 車体後方から後部ステップへ容易に昇降できる大型の埋め込み式展開ステップを左右に設けること。なお、ステップ内部にはLED灯を内蔵すること。

(9) 車体後部の昇降用タラップは、クレーン保護パネルと後壁間の左右に設け、横さの間隔は200mm程度、ピッチは300mm程度で滑り止めを施すこと。

(10) リアバンパー後面に大型反射板（規格品）を取り付けること。

(11) 後退警報用スピーカーをリアバンパー内に取り付けること。

(12) リアバンパー後方下部に扉付きの収納庫を設けること。なお、収納庫内にはアルミボックスを設けること。

(13) リアバンパー上部に上蝶式の大型収納ボックスを設けること。（別途指示）

11 灯火類

(1) 後部席上部左右に標識灯（黄色地に黒文字）を埋め込み式で取り付けること。

(2) キャブ側面上部にLED赤色点滅灯を左右に各1箇所取り付けること。

(3) キャブ側面上部に車体周囲を有効に照射できるLED作業灯を左右に各1箇所取り付けること。

(4) 車体側面嵩上げ部に車体周囲を有効に照射できるLED作業灯を左右に各2箇所取り付けること。なお、スイッチは車体後部左右に取り付けること。

(5) 車体側面嵩上げ部にLED赤色点滅灯を左右に各3箇所取り付けること。

(6) フロントスポイラーバンパー左右にLED式赤色点滅灯を保護枠付で取り付けるこ

と。

- (7) フロントグリル左右にLED赤色点滅灯を保護枠付で取り付けること。
- (8) 車体後部壁面にLED赤色点滅灯を左右に各1箇所取り付けること。
- (9) 車体後部壁面にLED作業灯を左右に各1箇所取り付けること。

1.2 電装

- (1) キャブ上部に取り付ける電装品は、強固に取り付けるとともに防水処置を施し配線は屋根裏からセンターピラーを通し屋根上に配管用パイプを設けること。
- (2) ヒューズボックスをキャブ内に設け、各電装品ごとに名称、アンペアを記入すること。
- (3) 次のものは同一スイッチとすること。
 - (ア) 前部LED式赤色点滅灯
 - (イ) 散光式警光灯
 - (ウ) 側面LED式赤色点滅灯
 - (エ) 後部LED式赤色点滅灯
- (4) 各配線は、結線及び配線処理を確実にを行うとともにキャブチルトした場合にも支障がない作りとすること。
- (5) キャブ内天井部の内張りは、電装品及び各配線の点検が容易に行える構造であること。
- (6) スイッチ類には全て銘板を付すこと。
- (7) 路肩灯、サイドマーカーランプは車両のスマール点灯に連動すること。
- (8) 自動エンジン回転制御装置（マルチスロットルコントロールシステムTMC-05）
工作車に装備される下記①～③の装置を使用する際に最適なエンジン回転数を自動的に選択する装置を設けること。また、誤操作による各装置の破損を防ぐため、①～③の各装置を併用する時は優先される装置の最適エンジン回転数を自動的に選択、維持し装置の運用効率を高めること。
 - ① ウインチ装置
 - (ア) スイッチを操作した時のみ、エンジン回転数が最適な状態になること。
 - (イ) スイッチを操作しない時は、エンジン回転数がアイドリング状態に戻ることに。
 - (ウ) 発電照明装置と併用時は、発電機の最適回転数を優先させること。
 - ② クレーン装置
 - (ア) 発電照明装置と併用時は、発電機の最適回転数を優先し、アクセルレバーを最大に操作した時もエンジン回転数に影響を与えないこと。
 - (イ) 発電照明装置と併用しない時は、アクセルレバーに応じ最大の回転数で操作ができること。
 - ③ 発電照明装置
 - (ア) 配電操作盤に、自動的に発電機の最適回転数まで回転を上げ、発電誘起するロック式スイッチを設けること。

- (イ) ロック式スイッチをOFFにするとエンジン回転数がアイドリング状態に戻り発電を停止すること。

1.3 無線関係

車載無線機関係は、当組合の指示する業者と連携し、下記の行程で取り付けること。
なお、詳細は承認函提出時に打ち合わせすること。

- (1) 無線電話装置本体をキャブ内の適切な位置に取り付けること。(無線電話装置本体は、現有車両の装備品を載せ換え、取り付けるものとする。配線は新品とすること。)
(別途協議)
- (2) センターコンソール部の適当な位置にAVM装置を取付けること。(AVM装置は、現車両の装備品を載せ換え、取り付けるものとする。配線は新品とすること。)
(別途協議)
- (3) 車体の適切な位置に無線送受話器取り付けスペース及びスピーカーを設け、キャブ内無線機との間に配線ケーブルを取り付けておくこと。(アンテナ・AVM外部設定器制御ケーブル・車外通話装置は新品とすること。)(別途協議)
- (4) キャブ上面の必要な箇所に無線、AVMに必要なアンテナ入線孔を必要数設けること。
- (5) 工作車(名称:吉田救助1)「新潟88や2514」の無線電話装置を外し、工作車(名称:燕救助1)「新潟800は975」に移設し、工作車(名称:燕救助1)「新潟800は975」から外した無線電話装置を本車両に移設すること。(別途協議)

1.4 塗装

- (1) 車体は脱脂処理後、防錆加工、フェンダー内はアンダーコート加工を施しパテ等で素地調整後、下塗り塗装をした後、朱色にて3回以上塗装後クリア塗装を施工し乾燥後磨き出し仕上げを行うこと。
- (2) 各シャッター両面に車体と同色の塗装を施すこと。
- (3) 積載ボックス内はライトグレーの塗装を施すこと。
- (4) 積載枠はステンレス素材を用いるため、塗装しないこと。
- (5) 各ホイールはメーカー標準色とし、塗装しないこと。
- (6) フロントバンパー及びリアバンパーにLINE-X塗装を施すこと。
- (7) その他の部分の塗装色については当組合と打ち合わせすること。

1.5 文字記入

- (1) キャブ両ドアに次の方法により記入する。
 - (ア) 後部ドアに「燕・弥彦消防本部」と記入すること。
 - (イ) 横文字左書きで記入すること。

- (ウ) 文字の大きさは100mm程度とする。
- (エ) 字体は丸ゴシックで白色文字とする。
- (2) 車体両側に次の方法により記入する。
 - (ア) アルミシャッター部に「RESCUE UNIT TSUBAME」と記入すること。
 - (イ) アルミシャッターのデザインは当組合と打ち合わせすること。
- (3) ルーフステージ上面に「新潟 燕・弥彦R」と黒色で記入すること。
- (4) 車体側面嵩上げ部左右両側面に「燕救助」と白色で記入すること。
- (5) 車体前部に当組合の指示する文字を記入すること。
- (6) 車体後部に当組合の指示する文字を記入すること。
- (7) 車体左右の標識灯に当組合の指示する文字を記入すること。
- (8) 車体のいずれかに緊急消防援助隊ロゴマーク（タイプ1）を取り付けること。（詳細別途協議）

1.6 検査

- (1) 当組合に提出した製作工程表に基づき、検査ができる状態で日程を組むこと。
- (2) 検査依頼は、実施予定日の概ね2週間前までに書類で提出すること。
- (3) 検査にあっては、営業及び設計担当者が立ち会うこと。

1.7 検査項目

- (1) 中間検査
 - 外部塗装前で装備品及び付属品を取り付けた状態で実施し、主要部分の組立状況、材料及び資機材収納状態の検査を実施する。
- (2) 完成検査
 - 仕様書、承認図に基づき次の検査を実施する。
 - (ア) 艀装全体の検査
 - (イ) 付属品数及び機能検査
 - (ウ) 各装備及び救助資機材の員数検査
- (3) 上記以外に発注者、受注者がそれぞれ必要とみとめるときは、特別検査を実施できるものとする。但し実施にあっては事前に相互連絡を取り合うものとする。
- (4) その他
 - (ア) 前記の試験及び検査を通じ振動、異音、発熱等の異常を認めた箇所については直ちに修復のうえ、再検査を受けなければならない。
 - (イ) 納入に至るまでの検査及び故障、修理に要した費用の一切は受注者の負担とする。

18 その他

- (1) 仕様の更新等により変更が生じた場合は、別途協議とすること。
- (2) 社会情勢や法的規制への対応等によりシャシ供給に遅れが生じた場合には、当組合と協議の上、納期延長を認める。

19 旧車両に関する事項及び廃車手続き

平成6年9月登録の工作車（名称：吉田救助1）「新潟88や2514」を廃車とし、旧車両の積載資機材を当組合の指示により廃棄処分を行うこと。（別途協議）

20 補 足

- (1) 完成車の納期は、令和7年3月31日までとし、納入場所は当組合とする。
- (2) 新潟運輸支局新潟陸運支局長の新規登録を受けた後、緊急自動車届出確認書を添えて各部の点検整備を実施のうえ、燃料を満タンにし納入すること。
- (3) 車両の新規登録にかかる重量税、自動車損害賠償責任保険料、リサイクル料については発注者の負担とする。
- (4) 保証期間は、完成納入後1年間とするが保証期間後といえども設計不良、工作不良あるいは材料不良に起因する不適合箇所が発生した場合には、無償にて取り替えまたは修理を行うものとする。
- (5) 完成納入後、当組合の指定する場所において職員に車両の構造及び機器の取り扱い保守管理等の指導をするための担当者を派遣すること。なお、派遣に対する諸経費の一切は受注者が負担するものとする。
- (6) エンジンキー及びボックス等の施錠鍵は、すべて1種3組とする。
- (7) 納車後10年間の保守点検、整備等にかかる経費一覧表を提出すること。（別途協議）
- (8) その他の経費が発生した場合は、受注者側が負担するものとする。

なお、その他の経費について疑義が生じた場合は、当組合に速やかに連絡し承認または指示を受けること。

別表1 付属品一覧

No.	品名	仕様等	数量
1	自動車工具	標準付属品	1式
2	フロアマット	前席、後席	1式
3	シート防汚カバー	全席	1式
4	フロントグリル	メッキグリル付き	1式
5	フロントスポイラーバンパー		1式
6	車輪止 (左右)	合成ゴム製	4個
7	三角表示板	シャシ標準品	1個
8	発煙筒	車両標準装備品	1個
9	非常信号灯	点滅機能・マグネット付 単II電池付	1本
10	赤旗	約38cm×40cm 木製柄付	1本
11	ブースターケーブル	大型車用	1本
12	牽引用ワイヤー	長さ 5m	1本
13	スタッドレスタイヤ	245/70R19.5ホイール付 ブリヂストン	6本
14	スペアタイヤ	前輪用、後輪用	2本
15	タイヤチェーン	ダブルチェーン バンド付	1式
16	バッテリー	155G51R	2個
17	E S スタート (坂道発進補助装置)		1式
18	後退警報器	音声式	1式
19	後退警報器切替スイッチ	ON/OFFスイッチ	1式
20	サンバイザー	運転席、助手席	2個
21	サイドバイザー	全ドア (樹脂製)	1式
22	サイドミラー	熱線入りリモコンミラー	2個
23	補助サイドミラー	助手席側	1個
24	ナンバーフレーム	ステンレス製	1組
25	泥除けカバー	全輪	4枚
26	大型デジタル時計	キャブ内	1台
27	くもり止めヒーター	左右サイドミラー	2個
28	エアコン	フロント (純正品) リア (別途クーラー・ヒーター)	1式
29	ABS (アンチロックブレーキシステム) 装置		1式
30	ヘッドライト	LED式純正品	1式
31	フォグランプ	シャシ標準品	1式
32	リアコンビネーションランプ	KOITO 流鏑馬デザイン シーケンシャルターン	1式

33	パワーウインドウ	全ドア	1式
34	キーレスエントリー		3個
35	集中ドアロック	全ドアキーレスエントリー付き	1式
36	スノーブレード		1式
37	マルチインフォメーションパネル		1式
38	エンジンアワーメーター	マルチインフォメーションパネル内	1式
39	油温計	マルチインフォメーションパネル内	1式
40	ブレーキ摩耗センサー		1式
41	寒冷地仕様		1式
42	オーバーヘッドコンソール		1式
43	オルタネーター	24V-90A以上	1式
44	エンジンコントロールリンク		1式
45	標準工具		1式
46	その他メーカー標準装備品等		1式
47	その他（別途協議）		

別表2 取り付け品及び取り付け装置一覧

No.	品名	内容	数量
1	標準艀装		1式
2	艀装メインスイッチ（ACCキー連動）		1式
3	散光式警光灯	ワイレン製 高輝度LED式 （キャブ一体型組み込み）	1式
4	赤色点滅灯（車体側面嵩上げ部左右）	ワイレン製 M9FCR24	3個
5	赤色点滅灯（車体後部壁面左右）	ワイレン製 M9FCR24	2個
6	赤色点滅灯（キャブ側面上部左右）	ワイレン製 M9FCR24	2個
7	赤色点滅灯（フロントグリル内 保護枠付）	ワイレン製 WIONSMBR24	2個
8	赤色点滅灯（フロントスポイラーバンパー左右保護枠付）	ワイレン製 WIONSMBR24	2個
9	LED作業灯（車体側面嵩上げ部左右）	ワイレン製 M9LZC24	2個
10	LED作業灯（キャブ側面上部左右）	ワイレン製 M9LZC24	2個
11	LED作業灯（車体後部壁面左右）	ワイレン製 M9LZC24	2個
12	フロントバンパー上面アルミ縞鋼板張り		1式
13	リアバンパー上面縞鋼板張り		1式

14	電子サイレンアンプ	大阪サイレン製 TSK-D152 音声合成装置付 専用マイク付	1式
15	電動モーターサイレン	ハイルーフ内蔵型	1個
16	スピーカー	SA-41 (防雪カバー付)	1式
17	標識灯	キャブ側面埋め込み式	2個
18	旗立て装置	ステンレス製 (蝶ネジ式)	1式
19	盤面灯		1式
20	10連スイッチ		1式
21	音声合成式電子サイレン	TSK-D152	1式
22	モーターサイレンスイッチ	7N型自動吹鳴装置	1式
23	シャッター開閉確認ランプ	10連スイッチ若しくはコンソールボックスに配置	1式
24	照明塔上昇確認ランプ	10連スイッチ若しくはコンソールボックスに配置	1式
25	マルチスロットルコントロールスイッチ	ロック式	1式
26	電子サイレンアンプ用マイク掛け	センターコンソールボックス脇	1式
27	消防章	金属製 150mm	1個
28	エンジン点検灯	LED灯 (必要に応じて増設すること)	必要数
29	足元灯 (各ドア)	LED式	4個
30	庫内灯 (収納庫開閉連動)	LED式	必要数
31	積載枠照明	LEDバー式	必要数
32	資機材収納部照明	LEDバー式	必要数
33	ドアサイド赤色灯	LED式	4個
34	路肩灯 (シャインマーカー)	LED式	必要数
35	サイドフラッシャーランプ		必要数
36	サイドリフレクター		必要数
37	サイドマーカーランプ		必要数
38	室内灯	後部座席天井左右埋め込み式LED	1式
39	LEDフレキシブルマップランプ	助手席、後部席両側	3個
40	オイルパンヒーター	15m専用コード付	1式
41	地図収納ボックス (後部座席付近)		1式
42	キャビネット (後部座席脇)	脱落防止用ネット付き	1式
43	ルーフセンターコンソール	脱落防止用扉付き	1式
44	ルーフフロントコンソール	脱落防止用扉付き	1式
45	ルーフリアコンソール	脱落防止用扉付き	1式
46	収納棚 (助手席後部側面)	パンチング方式	1式
47	バッテリー引き出し装置		1式

48	金属化粧板	各ドアのフェンダー部及び蹴り込み部分	1式
49	牽引用フック（車両前部）		1式
50	シャックル（車体側面立上部）	耐荷重200kg	4個
51	アルミ製シャッター	リミットスイッチ付き	4枚
52	三連梯子昇降装置	手動式	1式
53	空気呼吸器ブラケット一体型シート	後部座席	3脚
54	空気呼吸器固定装置（助手席）	埋め込み型シート	1式
55	空気呼吸器固定装置（後部座席）		3基
56	空気呼吸器固定装置（運転席後部面）		1式
57	面体等吊り下げフック（後部座席背面）	可倒式二股フック	3個
58	ルーフデッキ	アルミ縞鋼板張りD環フック6個付き	1式
59	黄色灯（アウトリガー上部）	保護枠付	2個
60	外部文字記入	左右ドア、シャッター、前部、後部、屋根	1式
61	カーナビゲーションシステム	地上デジタルTVチューナー内蔵	1式
62	ドライブレコーダー		1式
63	車両後方監視モニター	バックアイカメラ連動	1式
64	フレッシュキブルマイク（運転席右側上部）		1式
65	シャッター上部照明	LED式バー型	4個
66	消火器	自動車用20型	1本
67	環フック	耐荷重500kg	4個
68	ピンドルフック	耐荷重3t	2個
69	バウシャックル（車両前部、後部）	耐荷重3t	4個
70	クレーン装置	本文参照	1式
71	屋上上昇式発電照明装置	本文参照	1式
72	大型反射板（リアバンパー後部）	規格品	1式
73	昇降用タラップ（車体後部）		1式
74	埋め込み式展開ステップ		1式
75	車載型無線機	（支給品）別途協議（配線は新品とする）	1式
76	AVM装置	（支給品）別途協議（配線は新品とする）	1式
77	外部無線用送受話器	車体後部左右（新品）	1式
78	AVM車外設定器	車体後部左右（新品）	1式
79	アルミボックス	アルミ縞鋼板製（別途協議） 車体上部右側	1式

省令別表 1 (補助対象)

一般救助用器具

No.	品名	規格等	数量
1	三連はしご	モリタ製 (MTTL-387)	1
		関東梯子製 クロスバー (TRX-167)	1
2	かぎ付はしご	モリタ製 (MTL-131)	1
3	ワイヤーはしご	関東梯子製 KHFL-Y-11	1
4	空気式救助マット	VETTER製 (SP-16)	1
5	救命索発射銃	CMCレスキューショット	一式
6	救助用縛帯	サバイバースリング (AZ1031-1型)	1
		ベストスリング (AZ1030-1型)	1
		縛帯 (R-427)	1
		縛帯 (R-N430)	1
7	平担架等	アジャスタブルリフティングブライドル	1
		スケッドストレッチャー一式 (SK-200C-OR)	1
		パーティカルストレッチャー一式	1
		アウトースキッド	1
8	ロープ	東京製綱 M打 (赤) 200m	1
		東京製綱 M打 (白) 200m	1
		SRT スローライン 200m	1
9	カラビナ	123 KR10-S	20
		123 KA12KS	10
10	滑車	TR-300型	5

重量物排除用器具

No.	品名	規格等	数量
1	油圧ジャッキ	ホルマトロPENTHEONラム (PTR50)	1
		延長パイプ (TRE05)	1
		クロスラムサポート (XRS01)	1
		ラムサポート (HRS22NCT)	1
		バッテリー	2
2	油圧スプレッダー	ホルマトロPENTHEONスプレッダー (PSP50)	1
		デイジーチェーンパワーコードDCPC1	3
		オンツールチャージコードPOTC01	3

		バッテリー	2
		充電器 (PBCH4)	1
3	可搬ウインチ	チルホール TU-16 (20mワイヤー付)	一式
4	ワイヤーロープ	14mm×5m	2
		14mm×2m	2
		ブルースリング100mm×5m両端アイ	2
		ブルースリング100mm×8m両端アイ	2
		アルテマスリング10mm×1.8m (保護カバー20cm付)	2
5	マンホール救助器具	スケドコ社製マンホール救助器具	一式

切断用器具

No.	品名	規格等	数量
1	油圧切断機	ホルマトロPENTHEONカッター (PCU50)	1
		バッテリー	2
		充電器 (PBCH4)	1
2	エンジンカッター	K970 Rescue	一式
		ダイヤモンドブレード (MG-12)	2
		レジノイドブレード (金属用)	10
3	チェン・ソー	根切チェン・ソー RC6200P-rktSET	一式
4	ガス溶断機	酸素溶断機OZ	一式
		ランス棒 OZ-9-90	20
		ランス棒 OZ-9-60	20
5	鉄線カッター	活線ボルトクリッパー (ZBC600A)	1

破壊用器具

No.	品名	規格等	数量
1	万能斧	ライトレスキューハリガン・アックスセット (SR-ASH)	1
2	ハンマー	グラス柄両口ハンマー	1
3	携帯用コンクリート破壊器具	ハンディブレーカー	1

検知・測定用器具

No.	品名	規格等	数量
1	可燃性ガス測定器	ポータブルガスモニター (GX-3R) タイプA	一式

呼吸保護用器具

No.	品名	規格等	数量
1	空気呼吸器	ライフゼム A1-12 (面体M) ヴィジュラート	5
2	空気ボンベ	エア・ウォーター製 FRP730CⅢA ブルネッカー29.4MPA	10

隊員保護用器具

No.	品名	規格等	数量
1	皮手袋	ペツル K53	5
2	耐電手袋	YS-101大 (455mm)	4
3	墜落静止用器具	アバオ・ボッド・ファスト サイズ1	5
		アブソービカY エムジーオー	5
4	防塵メガネ	SS-7000CL (オレンジ)	5
5	携帯用警報器	MSAモーションスカウト	5
6	防毒マスク	マルチガス用マスク (RM165-M60)	5
7	化学防護服	・デュポン タイケム10000 キャリーバッグ・ハズマックブーツB ・シルバースールド10枚含む	4

水難救助用器具

No.	品名	規格等	数量
1	ドライスーツ	TUSA R7 RESCUE ※「燕・弥彦消防」名入り ※サイズは別途協議	5着
2	救命ボート	ハマウレ AU380W (オプション含む) ※「燕・弥彦消防」名入り	一式
3	船外機	SUZUKI DF20A-JET	1

山岳救助用器具

No.	品名	規格等	数量
1	登山器具	MPDツインキット	1
2	バスケット担架	タイタンT I スプリット (チタン製)	1

その他救助用器具

No.	品名	規格等	数量
1	投光器一式	クロスバスター (E 0 5 4 セット)	一式
2	携帯投光器	ファイヤーバルカン バルカン180F	2
3		ストリームライト製 ナックルヘッド (ワイド)	5
4		フラッシュボーイLEDスペクトラモバイル (三脚付)	1
5	携帯拡声器	レイニーメガホン消防ホイッスルモデル ※先端「署」・胴体部「救助隊」 ・ホーン部「燕・弥彦消防」	2
6	携帯無線機	特定小電力トランシーバー (SRS 2 1 0 A)	5
7	応急処置用セット	救急バッグセット 2 1 点	1
8	その他の携帯用救助工具	テコバール	1
		SK-11 リフォームバール 7 5 0 mm	4
		厚鎌	1
		腰鉈	1
		ゴムボーイ折込のこ	1
		丸胴カケヤ	1
		バチヅル	1
丸ショベル	1		

省令別表 2 (補助対象)

重量物排除用器具

No.	品名	規格等	数量
1	マット型空気ジャッキ	ホルマトロHLB 1 1	2
		ホルマトロHLB 2 1	2
		ホルマトロHLB 3 1	1
		コントローラーHDC 1 2 J	1
		エアーホース5m黄・青・オレンジ	3
		レギュレーター PRV 1 2 J	1
		開閉ホース SOH 1 2	3
		交換用スライダパッド (3個セット)	1
		リフティングアイ (2個セット)	1
2	大型油圧スプレッダー	ホルマトロPENTHEONコンビツール (PCT 5 0)	1
		牽引チェーン (PCS 0 3)	1
		アクセサリセット (ACS 0 4)	1

切断用器具

No.	品名	規格等	数量
1	空気切断機	アジャックスエアーカッター (X 1 1 - RK)	一式
2	空気鋸	タイガーエアーソー	一式
3	電動切断機	充電式レシプロソー (SR 3 0 - A 3 6) ・バッテリー2個・充電器・ブレード含む	一式

破壊用器具

No.	品名	規格等	数量
1	削岩機	ビーガン (CB 4 4 1 0)	一式
	電動ハツリ機	ヒルティ製 (TE 1 0 0 0 - AVR)	一式
		スコップチゼルTE - SX SP	1
2	ハンマードリル	ヒルティ製 (TEA - A 2 2) ・バッテリー2個・充電器・ドリルビット含む	一式
		ヒルティ製ドリルビット (TE - CX 1 8 - 4 8)	1
		ヒルティ製ドリルビット (TE - CX 2 0 - 4 8)	1

呼吸保護用器具

No.	品名	規格等	数量
1	簡易呼吸器	ライフマスター	1
2	防塵マスク	1021R-07	5
3	送排風機	BATFAN2 (送気ダクト (5m)・ミスター・予備バッテリー)	一式

隊員保護用器具

No.	品名	規格等	数量
1	特殊ヘルメット	YS-125-01	4
2	耐電衣	YS-121 (ジャンパー型) 特大2・大2	4
3	耐電ズボン	YS-122 特大2・大2	4
4	耐電長靴	YS-111 27cm2・28cm2	4
5	高圧プラスチックシート	900×1000	1

その他の救助用器具

No.	品名	規格等	数量
1	緩降機	スローダン125 30m	1
2	ロープ登降機	アッセンション (B17A)	2
3	発電機	ホンダ (EU28i)	1

その他

No.	品名	規格等	数量
1	救助ブロック	ステップチョークAセット	1
		ロックブロックBセット	1
2	車両サポートシステム	オートクリブ (AC-17)	1
3	保護ツール	シャープエッジカバー一式	1
		ホルマトロASS-SET2 (エアバッグ保護カバー)	1
		ホルマトロASS-SETB (エアバッグ保護カバー助手席用)	1
		保護シールド	1
		ツールステーション	1
		レスキューサポートバッグ	1
		グラスマスター	1
パケックススマッシュ (ガラス飛散防止フィルム)	1		

4	現場指揮テーブル	折り畳み式作戦指揮台	1
		活動用時系列耐水シート	10
		活動用要救助者耐水シート	10
		災害用トリアージ耐水シート	10
		災害用方眼耐水シート	10
5	LED 矢印板	JLE-10	2
6	LED 合図灯	JAZ-X55	5
7	パワーフレア	PF-200	3
8	ジャバラコーン	PCS-70PW	4
9	検電器	THE-700DL	1
10	工具セット	SK3561WZ	1
11	アラミド無線機ホルダー（隊長・副分隊長用）	アラミド無線機ホルダー（RH-2）	2
12	活動用ベスト（救助活動時）	ボーンズ メッシュベストBN-2（ブラック） ※「燕・弥彦消防」「新潟県」名入り	5
13	感染防止衣	・RSMMS-JS（ジャンパータイプ） ・RSMMS-P（ズボン） ※「燕・弥彦消防」名入り	50 着
14	肘・膝パッド	アルタ（コンツアー360ヒブラムキャップ）	5
15	チェン・ソー保護具	チャップス2ファンクショナル	1
16	プライバシーシート	プライバシーシートBIG	1
17	コードリール	BF-301KX	1
18	ガソリン携行缶	TS-4.5	2
19	粉末消火器	車載用20型	1
20	要救助者保護シート	WEBERRESCUEパットセーフ	1
		WEBERRESCUE交換用ウインドウ	1
21	資機材搬送用台車	資機材搬送用台車	1

省令別表 3

高度救助用器具

No.	品 名	規 格 等	数量
1	画像探索機	オリンパス一式 IV9635GL (予備バッテリー1個追加)	1
2	熱画像直視装置	FLIR K45 一式(予備バッテリー1個追加)	1
		Seek Reveal PRO	2